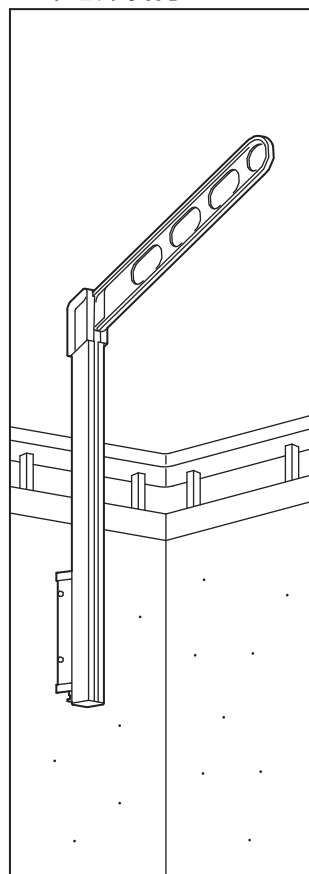


◎完成納まり図

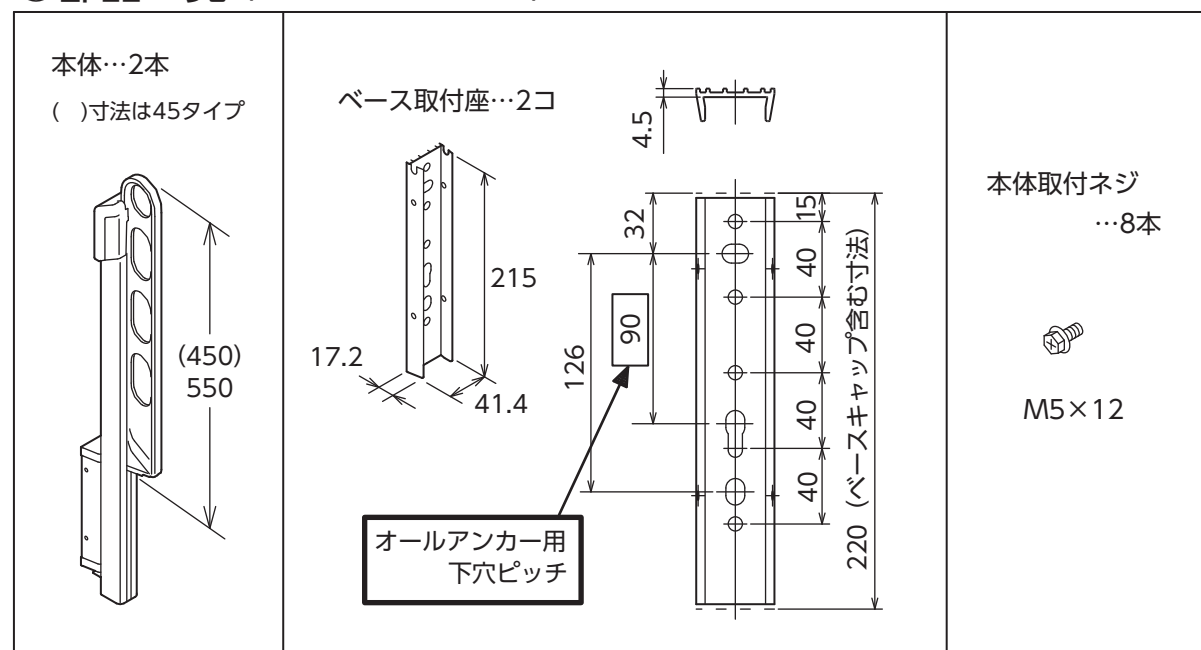


正しく施工をしていただく為に必ず取付説明書をお読みになり、順番に従ってお取付けください。

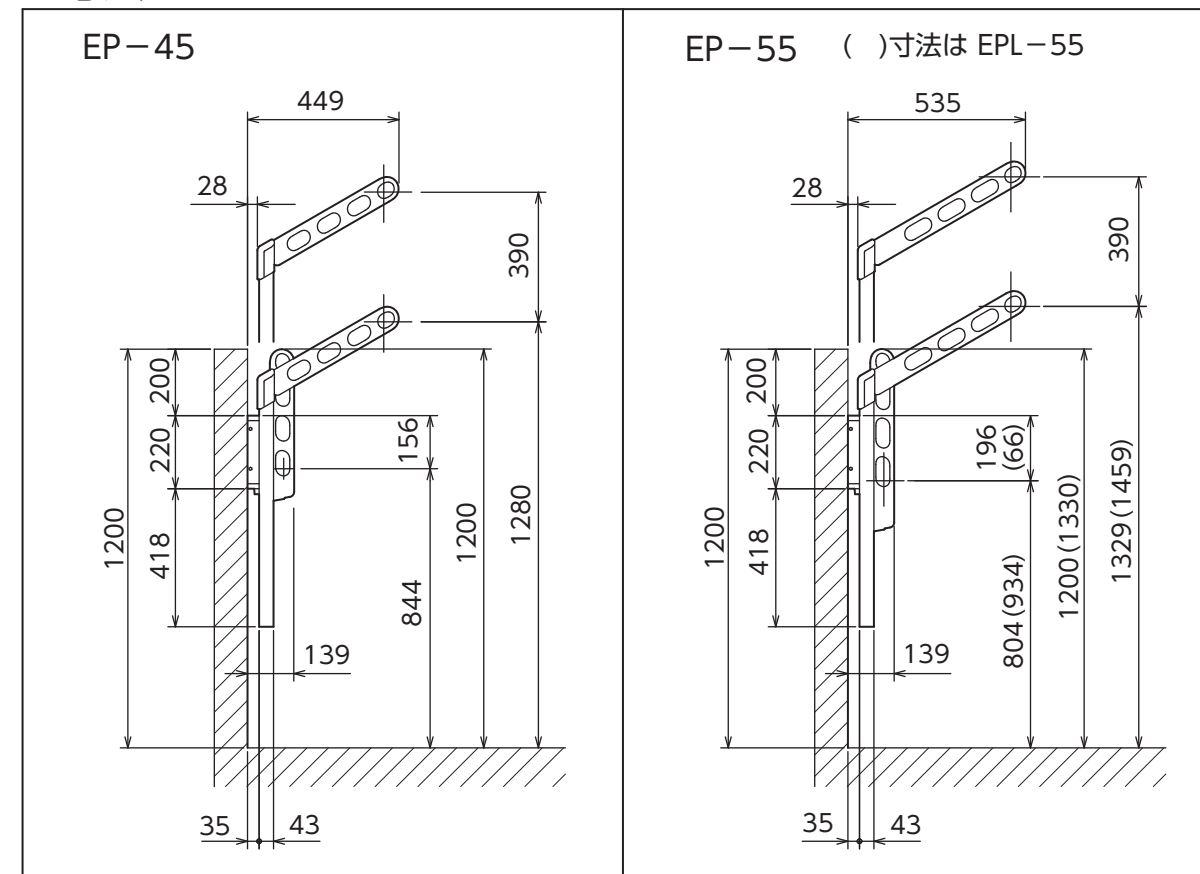
- ⚠ **注意1** 非常口、避難ハッチ等の妨げにならない場所にお取付けください。
- ⚠ **注意2** 高所での作業は部品等の落下に十分注意してください。

※本製品には躯体に取付けるためのネジ・パーツ類は含まれておりませんので、取付パーツは別にご購入ください。

◎部品一覧 (2本入梱包箱内容)



◎寸法図 手すり高さ1200mmの時の取付け例

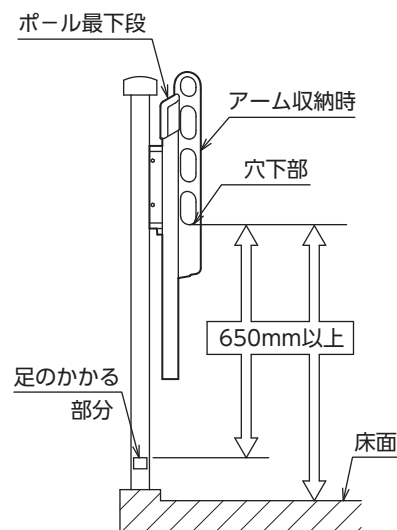


◎お取付けになる前に

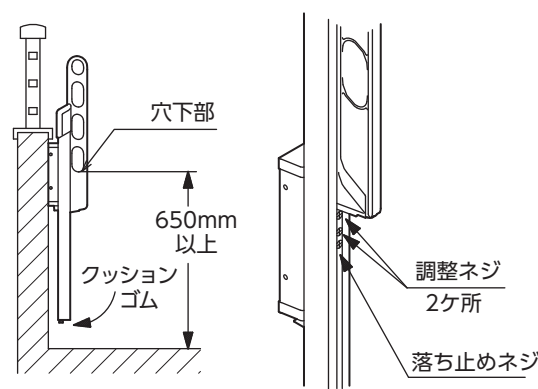
⚠ **注意** 落下事故防止に関する事ですので必ずお読みください

●転落事故を防止するため、アーム収納時の穴下部が「足のかかる部分」にならないように極力高い位置に取付けてください。法律や各種基準では「足のかかる部分」までを650mm以上としています。安全のため800mm以上をおすすめします。

寸法図を参考にして650mm以上を確保できる取付け位置を決めてください。



収納時のアーム高さが変えられます



ベランダの形状により低い位置に付けざるをえない場合は、調整ネジをゆるめてアームの高さを変えてください。

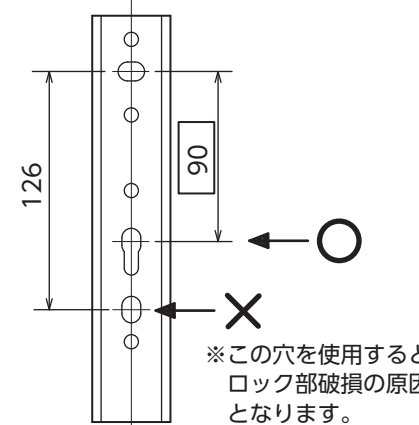
- ※調整ネジは完全に抜き取らず、調整後はしっかり締め付けてください。
- ※ポール底面には床面に当たっても大丈夫なようにクッションゴムが貼付けてあります。

取付けネジ、場所に関する確認

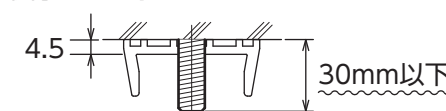
カタログ品以外のボルト類で取付ける場合

■オールアンカーで取付ける場合

●ベース取付座は90mmピッチの穴を使用して取付けてください。



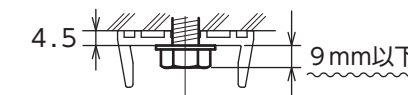
●ネジ頭部が壁面から出寸法30mm以下のオールアンカーを使用してください。出寸法が30mmを越えると、製品本体が取付かない原因となります。



ボルト、アンカー類はM8・M10・W3/8を使用してください。

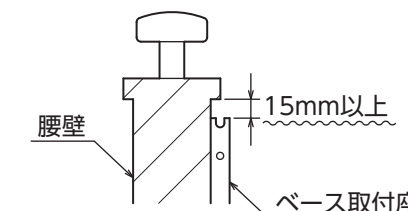
■ボルトで取付ける場合

●ボルト頭部がベース取付座から出寸法9mm以下になるように取付けてください。出寸法が9mmを越えると、製品本体が取付かない原因となります。



本体をはめ込むスペースの確保

●本体をはめ込む時のためにベース取付座上部を15mm以上あげてください。



ホスクリーンEP・EPL型 取付方法

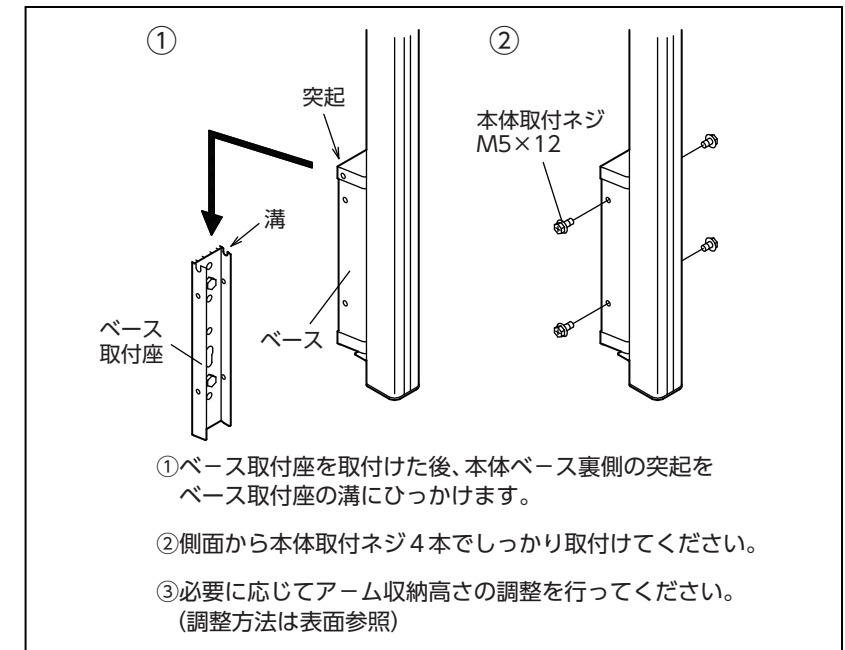
注意 タイル壁の酸洗いは完全な養生をしないと、商品腐食の原因となります。
酸洗い後のお取付けを、強く建設会社様へお求めください。(万一の場合は有料交換対象となります。)

川口技研

1 ベース取付座の取付 使用するパーツのものを下図より選んでください。ベース取付座は切欠きがある方を上側にしてください。

名称	支柱取付パーツ		支柱ハサミ付パーツ		ジカ付パーツ(コンクリート)	ジカ付パーツ(木造)
記号	HP-1	HP-1B	HP-2LP	HP-2LP-DB	HP-5B	HP-6
取付方法	<p>ベース取付座 126 防水パッキン ボルト HP-1 60mmまで M8×75 HP-1B 80mmまで M8×95</p> <p>φ8.5~9mmの貫通穴をあけて穴にパッキンを貼ってからボルトをゆっくり入れて締め付けてください。</p>		<p>※金具自体が足のかかる部分になりますので、金具までの高さを650mm以上にしてください。</p> <p>ベース取付座 足のかかる部分 35~71mm 35~75mm</p> <p>金具を図のように取付けて、ナットで固定してください。</p>		<p>ベース取付座 126 M8×20</p> <p>φ12.5mm、深さ38mmの下穴をあけて、RCアンカーを打込みボルトで固定してください。</p>	<p>ベース取付座 126 φ8×90 防水コート付</p> <p>φ6mm、深さ85mmの下穴をあけて、コーチスクリューで固定してください。</p>
	ホスクリーンLP・EP・EPL型用パーツ					

2 本体の取付



3 取付後の点検

最後に、製品が確実に取付いていることを必ず確認してください。

以上で終了です

[その他の取付方法のご案内] 下記パーツのネジは一般規格品です。

名称	円柱取付パーツ	支柱ジカ付パーツ	ジカ付パーツ(木造間柱)	ALC付パーツ
記号	HP-10	HP-12	HP-13	HP-14
取付方法	<p>防水パッキン ベース取付座 126 M8×75 φ38~51mmまで</p> <p>φ8.5~9mmの貫通穴をあけて穴にパッキンを貼ってからボルトをゆっくり入れて締め付けてください。</p>	<p>※支柱の厚みは2mm以上必要です。</p> <p>アル三厚 2mm以上 ベース取付座 テクスネジ φ5×25 40 40 40 40</p> <p>テクスネジ5本で支柱へそのまま固定してください。</p>	<p>※壁厚が30mm以上の場合はネジが木部に25mm以上有効になるようにネジ寸を選んでください。</p> <p>30mmまで TPネジ φ5×60 40 40 40 40</p> <p>ベース取付座 φ3mmの下穴をあけてTPネジ5本で固定してください。</p>	<p>※ALCの厚さは75mm以上必要です。 ※取付座の丸穴3つを利用します。</p> <p>ベース取付座 M6×25 80 80 AX-M6 防水パッキン</p> <p>詳しい取付け条件や、施工方法はパーツ品に添付されている説明書をご覧ください。</p>
	HP-12、13は防水コート付ネジ。HP-14は防水パッキン付です。市販品を用いるときは防水シーリング等の処置を施してください。			

取付上のご注意

- 取付場所・位置
物干金物の取付け場所や位置(高さ等)については図面指定があればそれに従わない場合は御施主様との打ち合わせにより決定してください。構造や取付け方法によっては、その場所に下地材を前もって準備しておく必要があります。
- 取付部の強度
使用するネジ等が十分に効く事だけでなく、その他の影響にもご注意ください。
・サイディング材の裏に中空部がある場合、その奥の柱にコーチスクリュー等を効かせようとすると外壁材が破損する場合があります。
・外壁材の縁から近い所に穴あけ・ネジ締め等を行った場合も、ひびが入って後から破損や浸水する恐れがあります。
- ネジの長さ
壁材が厚く、取付け面から下地材(ネジが有効に効く部分)までが遠い場合は、それに合った長さのネジをご用意いただく必要があります。
- 防水処置
取付ネジ部から浸水があると、柱の腐食にまで進行する恐れがあります。外壁材などに下穴をあけたら穴やその周辺に防水シーリング材を充填し、浸水のないようにしてください。物干金物の外周部にシーリングをした場合も、取付ネジ部や金物構造の隙間から浸水がありますので、必ず穴をあけた部分の防水処置をしてください。